

令和3年度（1期）一般選抜入学試験問題【第1日】

国語総合・現代文B

（時間 60分 配点 150点）

受験上の注意事項

- 【1】試験開始の合図があるまで、問題冊子を開いてはいけません。
- 【2】受験票及び机上の受験番号シールに印刷された受験番号及び氏名が間違っていれば、速やかに監督者に知らせなさい。
- 【3】この問題冊子は、本文が21ページあります。
問題冊子の印刷が不鮮明であったり、ページが落丁・乱丁していたり、解答用紙に汚れ等がある場合には、手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 【4】机には受験票・筆記用具及び時計等監督者から指示された物以外は置いてはいけません。
- 【5】監督者の指示があるまで退室はできません。
- 【6】解答用紙の解答科目欄の「国語」にマークしなさい。マークされていなかったり、複数の科目にマークされている場合は、採点できないことがあります。
- 【7】解答用紙については、特に次の点に留意しなさい。
- ① マークには必ず黒鉛筆（HB）を使用しなさい。
 - ② 解答は、解答用紙の問題番号に対応した解答欄にマークしなさい。例えば、第2問の

ア

 と表示のある問いに対して ③ と解答する場合は、次の例のように問題番号

2

 の解答欄アの ③ にマークしなさい。

例

2	解 答 欄									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ア	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

- ③ 折り曲げたり、汚したりしてはいけません。
 - ④ 解答用紙には、答案に関係のない語句・記号を書いたり、落書きをしてはいけません。
（問題冊子には書き込んでよい。）
 - ⑤ 誤ってマークした場合は、消しゴムできれいに消して書き直しなさい。
- 【8】試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。

令和三年度 入学試験問題 第一日

国語総合・現代文B

第1問

次の文章は、アメリカの神経科学者ジュリアン・ポール・キーナンが、研究上の師であり共同研究者でもあるゴードン・ギャラップ・ジュニアの考案した「鏡のテスト」について述べたものである。よく読んで後の問（問一～問七）に答えよ。

著作権の関係上、この部分の公開をしていません。

著作権の関係上、この部分の公開をしていません。

著作権の関係上、この部分の公開をしていません。

著作権の関係上、この部分の公開をしません。

(ジュリアン・ポール・キーナン他著、山下篤子訳『うぬぼれる脳 「鏡のなかの顔」と自己意識』に基づく)

(注)

- 1 セルフ・アウェアネス……自分自身の心的状態を省み、自己を他者とは異なる存在ととらえる能力。
- 2 ワトソン&クリックの二重らせん……一九五三年にジェームズ・ワトソンとフランシス・クリックによって提唱されたDNAの二重らせん構造のこと。
- 3 ブレイクスルー……ある問題に対し、以前からある方法とは質的に異なる方法によって解決策を見いだすこと。
- 4 およそ三〇年前……問題文が収録された著書が発刊された二〇〇六年を基準にした記述。

問一 傍線部ア「意識の研究に大きな変革をもたらした」とあるが、具体的にどういう点を「大きな変革」と述べているのか。最も適切なものを次の①～④の中から一つ選べ。解答欄は、【マークシート解答用紙】ア。

- ① 従来、自己認知の意思表示には不可欠だと考えられていた言語を用いることなく、非言語コミュニケーションを用いて行う「鏡のテスト」によって動物の意識の測定を可能にした点。
- ② 心的状態という、従来、測定不能だった脳領域に初めて科学的アプローチ方法を導入し、心の測定を可能にした点。
- ③ 顔の認知実験によって、従来、あたりまえすぎて誰も関心をもたなかった、自分を自分と認識する意識のメカニズムを解明した点。
- ④ 「鏡のテスト」が単に顔認知の実験にとどまらず、従来、人間だけがもつと考えられていた「自己概念」を人間以外の動物ももっている可能性を示した点。

問二 傍線部①～③のカタカナを漢字に直し、【記述解答用紙】に記入せよ。解答番号は、①〈1〉・②〈2〉・③〈3〉。

問三 空欄 X Z にはどのような文が入ると考えられるか。ギャラップの実験の目的に沿って考えた場合、最も

適切なものを、それぞれ次の①～④の中から一つずつ選べ。

解答欄は、【マークシート解答题紙】X イ Y ウ Z エ 。

- X
- ① つまりチンパンジーたちは、鏡の有無の影響を受けることはなかった
 - ② つまりチンパンジーたちは、マークの存在に気づいていなかった
 - ③ つまりチンパンジーたちは、互いのマークに気づいていたが関心を示さなかった
 - ④ つまりチンパンジーたちは、マークについて互いに教え合う行動をとらなかった

- Y
- ① チンパンジーたちは、以前はマークがなかったということを認識しているようだった
 - ② チンパンジーたちは、マークによる外見の変化を嫌ってマークを消そうとしているようだった
 - ③ チンパンジーたちは、鏡に映ったマークの位置や形状の違いに強い興味を持っているようだった
 - ④ チンパンジーたちは、主に手の触覚を用いてマークを確かめているようだった

- Z
- ① そしてその動物が鏡に映った額のマークに触る動作を示したときは、鏡の機能を認識できるものと考えた
 - ② そしてその動物がマークに関心を示さないときは、セルフ・アウェアネスは存在しないものと考えた
 - ③ そしてその動物がマークをしげしげと調べた場合は、自己鏡映像の認知ができるものと考えた
 - ④ そしてその動物がマークを気にする程度の違いによって、知能の個体差を測定できるものと考えた

問四 傍線部イ「しかし、二つめの重要な実験が必要だった」とあるがそれはなぜか。最も適切なものを次の①～④の中から一つ選べ。解答欄は、【マークシート解答题紙】 オ 。

- ① 事前に鏡を見せない場合と比較することによって、チンパンジーが鏡に映ったマークに手をやる動作が、集団による連鎖行動なのか、個体による自発的行動なのかを確認する必要があるから。
- ② 事前に鏡を見せない場合と比較することによって、チンパンジーが鏡を見ながらマークをさわる行為が、自分の顔と認識してのものなのか、単にマークに対する興味によるものなのかを見分ける必要があるから。
- ③ 事前に鏡を見せない場合と比較することによって、チンパンジーが自分のマークと他者のマークを区別する能力をもつことを実証する必要があるから。
- ④ 事前に鏡を見せない場合と比較することによって、チンパンジーがマークを調べる行動が、自分の外見の変化を認識しての行為であるかどうかを確かめる必要があるから。

問五

傍線部ウ「ギャラップはさらに三つめの要素をつけくわえた」とあるが、このことから明らかにするのはどういうことか。最も適切なものを次の①～④の中から一つ選べ。解答欄は、【マークシート解答用紙】カ。

- ① 自己認知能力は霊長類に特有な能力であり、他の下等な動物たちには存在しない能力であるということ。
- ② 同じ霊長類でも、より人間に近いグループが自己認知能力を持っているということ。
- ③ 自己認知能力の有無は、霊長類の意識に関するかつての論争を再燃させたということ。
- ④ 自己認知能力によって霊長類の進化の度合いをはかれるということ。

問六

二箇所の空欄



には同じ言葉が入る。最も適切な言葉を本文中から二字で抜き出し、【記述解答用紙】に記入せよ。

解答番号は、〈4〉。

問七 文章全体を踏まえて成り立つ考え方として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選べ。

解答欄は、「マークシート解答用紙」キ。

- ① 鏡のテストに合格するためには、他と区別できる基準となるベースラインの自己像を周囲も理解し共有していることが必要であると考えられる。
- ② 人間が他の霊長類と比べて大きな科学技術上の発展を遂げることができたのは、高次のセルフ・アウェアネスを獲得できたからであると考えられる。
- ③ 鏡の前で自己を他者と区別し、自己探査行動を示せるかどうかという点には、知的好奇心の深さと集団における社会的経験の有無が関係していると考えられる。
- ④ 人間に限らず自分の顔を認知できる動物は、セルフ・アウェアネスという高次意識を持っており、心の中に自己の内部モデルをつくる能力があると考えられる。

第2問 次の文章を読んで、後の問（問一～問九）に答えよ。

介護する人たちはリハビリや病気を克服する気のない人たちの介護をやめるべきであり、自分たちのやりたいことに時間を費やすべきではないか。寝たきりの老人、このような意識のない人たちは生きる権利を持っていても無駄になるので安楽死の方向でやるべきだと考えます。

私の身内にも植物人間がいます。それは私の祖母です。老人ホームに入院しています。入院したときの年齢が七十八歳で、現在、九十歳です。祖母がどういふふうに生きてきて、何を感じてきたのかはわかりませんが、充分生きてきたと思います。もし、神様がいるのならば、早く楽にしてあげた方が正直よいと思います。

日本では一人の人間を金、手間ヒマをかけて救う。一方で、アジア・アフリカなどでは貧しく飢える人が、こうしている現在もバタバタ死んでいる。人の生命は平等に重いというけれどこれでは明らかに重さに違いがある。このよ^うな（植物状態になった患者の回復への取り組みといった）問題で悩む日本は、平和なんだなと思う。

引用したのは「介護と家族」というテーマの講義で得られた学生の文章である。脳血管障害などで倒れ、植物状態になった患者の生命を助け、回復させようとする医療現場の^ア真摯な取り組みのビデオを見せた後、「自分の祖父母がこの患者だったらどう思うかも含めて感想を書いて下さい」と求めたのだった。寄せられたものには、こうした否定的な反応だけでなく、「生命の尊さを感じた」、「看護婦たちの献身に頭が下がった」などの肯定的な意見も、もちろんあった。しかし、否定的なものがかなりの数に上り、そして、こちらの方に^イ現代の若者世代の実感が映しだされているように思われることに考えこまれたのだった。

確かに、こうした学生の反応を「問題意識のない学生の意見」として一笑に付すことも出来るだろう。しかし、ここには、現代社会に「ゆたかさ」をもたらした価値観、倫理観がネガの形ではあれ、要介護者の生存権すら奪う意識に徹底している事実があらわにされている。「病気を克服する気のない人」を否定する価値観とは、いいかえれば A であり、「自分のやりたいことに時間を費やすべき」という意見とは、B にほかならない。さらに、「祖母がどういうふうに生きてきて、何を感じてきたのかはわからない」とする祖父母世代と孫世代の①ソエンな家族関係のあり方は、経済成長を担う社会単位とみなされてきた C である。そして、「このような問題で悩む日本は、平和なんだなあ」と、一見、傍観者のともとれる意見には、日本の高齢者介護問題の深刻さすらも「ゆたかさ」の裏面であり、地球規模でみると「アジアやアフリカの貧しさ（＝収奪）」のうえに成立しているという現状認識が反映されている。

ところで、日本の社会は、高齢者、なかんずく要介護者が膨大な数に増大していく長寿化の過程で、学生たちの持つこのような意識を変えうるような高齢者観を②ツチカい、獲得してきただろうか。

Ⅰ 介護問題は多くの点で「ゆたかな社会」の成立と関わっている。高度成長を経ての経済的基盤の充実は、食生活改善等による栄養水準の向上、水道・下水道の整備、水洗トイレの完備、衛生思想の普及定着、さらに国民医療保険制度の導入などを可能にしていた。そうしたこと全てが、従来からの③シッペイ構造を変え、平均寿命の上昇に貢献していった。さらに、これらの諸条件は長寿化をもたらしたばかりでない。それは救命医療技術の向上とあいつつ、人がいったん重い病で倒れた後にも、障害を持ったまま長期間の介護を受けつつ生きながらえる生活を可能にしていた。

「ゆたかな社会」における延長された老齢期のあり方について、内田は④いささかの危惧の念を持って、次のように述べている。「『ゆたかな社会』のおかげで、もし余暇しかもたない人間が現れたとしたら、その人間はどうするだろうか。……『ゆたかな社会』で熟年期をすぎれば、人はしばしば仕事も取りあげられ、ほとんどそのような余暇だけの、余白だけの存在になる可能性があるからだ。彼らが『何の余白であるかもわからないまま、ただ余白でしかない人間』の老いたる模像であることを、一体誰が否定できるのだろうか」。

しかし、現実はこの年齢層の多くが選好していったのは、延長された人生を「余暇だけの、余白だけの存在」というネガティブにみるあり方とは異なっていた。むしろ、それは、この歳月を会社などの拘束から離れた自由な「余白」とみて、それを自己選択によって積極的に充実させていく生活こそ望ましいというあり方であった。この時期にあらわれたのは「終わりよければ全てよし」と、人生の終期の意欲的な生き方によって、その人の全人生さえ測ろうとする高齢者観だったといえるだろう。

杉井^(金)は、「古い」の自己認識の差を基準として、「積極的な生きがいづくりをしていく意欲のある高齢者」と「人生をあまりきらめ、受け身的に生きる高齢者」という形で一九七〇年代に高齢者観が分節化し、前者を「高齢者」、後者を「老人」と呼び、かつては「老人」として一括りにされてきたこの年齢層が二つの層に分化する過程が進行したと指摘する。

「高齢者」という呼称の系列として「シルバー」、「シニア」などの語が使われることもある。いずれも行政やマスコミなどによって、「主体性を持った生き方」として奨励され、普及定着していったのがその後の流れであった。「生活貴族へ向かう高齢者たち」という副題を持つ、一九八五年から九五年までのこの年齢層の生活スタイルの変化を追った博報堂生活総合研究所の報告書はそうした流れを傍証する。そこには十年間に生じた変化が「自分志向」、「悠々志向」、「不老志向」、「上級志向」、「遊戯志向」というキー・フレーズでまとめられている。

こうした変化は、「自己成長」という価値によって、「意欲」や「生きがい」を持った「高齢者」は正当な市民権を与えられ、社会の中心に組み入れられる。一方、それを持つとしない「老人」は、それこそただ「余白だけの存在」として、「老人ホーム」、「老人病院」、「老人医療」、「老人福祉」などの客体として、さらに^カ周縁化されていく過程だったといえるだろう。それはいいかえれば、高齢期が死と隣り合わせの人生の終期であるという事実を「ゆたかさ」の価値によって否認したものである。それは高齢期が必然的に伴う病気や障害によって「そのままそこにあるしかない生命^{いのち}のとき」を支えるための方策をうむ倫理をうみ出さず、したがって、人が病でいざ倒れたときには、二つの高齢者観の落差の前に、たちすくむしかない性格を伴ったものだったといえるだろう。そうした高齢者観しか、社会が持ちあわせていないとき、冒頭の

ような若い世代の発言が出てくるのはしごく当然なことだといわねばなるまい。

(春日キスヨ著「ゆたかな社会と倫理の変容 介護問題から見えてくるもの」による)

(注) 1 内田……社会学者の内田隆三。その著作『さまざまな貧と富』(一九九六年 岩波書店)からの引用。

2 杉井……社会学者の杉井潤子。その著作「老人虐待をめぐって」(一九九五年 世界思想社『ファミリズムの発見』所収)、『家族基盤の充実』(一九八〇年 大蔵省印刷局)からの引用。

問一 傍線部ア「真摯な取り組み」の意味として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選べ。

解答欄は、【マークシート解答用紙】ア。

- ① 真剣で集中した取り組み。
- ② 敬意と創造にあふれた取り組み。
- ③ 自己犠牲をいとわない勇敢な取り組み。
- ④ まじめでひたむきな取り組み。

問二 傍線部イ「現代の若者世代の実感」を支えているのはどのような価値なのか。最も適切な言葉を本文中から四字で抜き出し、【記述解答用紙】に記入せよ。ただし、読点や記号も字数に含むものとする。解答番号は、(5)。

問三 傍線部ウ「現代社会に『ゆたかさ』をもたらした価値観、倫理観がネガの形ではあれ、要介護者の生存権すら奪う意識に通底している」とは、どういうことか。最も適切なものを次の①～④の中から一つ選べ。

解答欄は、【マークシート解答用紙】イ。

① 現代社会の「ゆたかさ」は、本来介護を必要とする人々の生命を守るためにこそ追求されなければならないということ。

② 現代社会では、介護を必要とする人々の生命は危険にさらされており、その犠牲の上に「ゆたかさ」がもたらされているということ。

③ 現代社会に「ゆたかさ」をもたらした考え方と、介護を必要とする人々の生きる権利を認めないような考え方には、共通性があるということ。

④ 「ゆたかさ」を追い求める現代社会の風潮と、介護を必要とする人々の生きる権利を顧みない姿勢とは、根本的に矛盾しているということ。

問四

空欄 A C に入る最も適切な語句を、それぞれ次の①～④の中から一つずつ選べ。

解答欄は、【マークシート解答用紙】 A ウ B エ C オ。

A ① 「努力」による「自己成長」こそよしとする価値観

② 「実用」による「社会貢献」こそよしとする価値観

③ 「勇気」による「自己犠牲」こそよしとする価値観

④ 「差別」による「選民意識」こそよしとする価値観

B ① 自己の将来の展望こそ是とする考え

② 自己の理解の深化こそ是とする考え

③ 自己の希望の表明こそ是とする考え

④ 自己の欲望の追求こそ是とする考え

- C
- ① 夫婦と子ども中心の核家族のあり方
 - ② 三世代同居の拡大家族のあり方
 - ③ 家族員が整然と統率された家父長制のあり方
 - ④ 夫婦ともに労働力となる共稼ぎ家族のあり方

問五 傍線部①～③のカタカナを漢字に直し、【記述解答用紙】に記入せよ。解答番号は、①〈6〉・②〈7〉・③〈8〉。

問六 傍線部E「介護問題は多くの点で『ゆたかな社会』の成立と関わっている」とあるが、なぜそのように言えるのか。最も適切なものを次の①～④の中から一つ選べ。解答欄は、【マークシート解答用紙】カ。

- ① 経済的基盤の充実にこそが「ゆたかな社会」を実現したのであり、その結果、介護問題の原因となるシッペイ構造自体が変容したから。
- ② 介護問題とは長寿化の結果生じてくる問題であり、「ゆたかな社会」の成立によってその長寿化がもたらされたから。
- ③ 「ゆたかな社会」が成立する基礎になった経済の高度成長が、国民医療保険制度などの介護問題を解決する手段として期待されるから。
- ④ さまざまな介護問題への取り組みと、「ゆたかな社会」の継続とは、ともに、経済的な基盤がしっかりして初めて可能であるから。

問七 傍線部オ「いささかの危惧の念」について、次の(一) (二) に答えよ。

- (一) 「危惧の念」の内容をわかりやすく言い換えるかどうか。最も適切なものを次の①～④の中から一つ選べ。

解答欄は、【マークシート解答用紙】キ。

① 「ゆたかな社会」においては、多くの人々は若いうちから仕事をする必要すらなくなり、そのまま熟年期に達すれば、生きていることを実感しづらくなってしまわないかということ。

② 「ゆたかな社会」をめざして人々は仕事に没頭し、その結果、物質的なゆたかさは手に入れたが、心のゆたかさを見失っているのではないかということ。

③ 本来、平均寿命の上昇は喜ぶべきことであるが、そのことが「ゆたかな社会」の実現には結びつかなかったのではないかということ。

④ 人々は、長寿化した「ゆたかな社会」で長い老齢期を過ごすことになるが、その時、仕事も取りあげられ、充実感のない生き方に空虚さを感じてしまうのではないかということ。

(二) その「危惧の念」は、実際にはどうなったと筆者は述べているか。最も適切なものを次の①～④の中から一つ選べ。解答欄は、【マークシート解答用紙】ク。

① そうした危惧の念とは異なって、人生の終期である老齢期を積極的に充実させようとする考え方が好んで選ばれた。

② そうした危惧の念とは異なって、会社の拘束から離れて自由な生き方を選択する若年層が現れた。

③ そうした危惧の念とは異なって、「若い」の自己認識の差を基準として、高齢者と老人とを区別する事態が生じた。

④ そうした危惧の念とは異なって、生きがいを持って老後を生きる人々と、人生をあきらめ受け身的に生きる人々とに分かれてしまった。

問八 傍線部「周縁化されていく」とは、本文に即して言えばどういうことか。最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選べ。解答欄は、【マークシート解答用紙】**ケ**。

- ① 「自己成長」をしない老人は、「老人ホーム」などで生きがいを発見しながら人生の終期を過ごすということ。
- ② 「意欲」や「生きがい」を持たないとみなされた老人は、社会の中で人々から遠ざけられていくということ。
- ③ 「老人ホーム」などに隔離された老人は、ますます「意欲」や「生きがい」を失っていくということ。
- ④ 病気や障害を持った老人は、家族の手を離れて社会に支えられていくということ。

問九 筆者の論旨に沿って考えた場合に、冒頭の学生の発言に関する記述として最も適切なものを、次の①～⑥の中から二つ選べ。順序は問わない。解答欄は、【マークシート解答用紙】**コ**・**サ**。

- ① 社会が「ゆたかさ」の価値を優先させた高齢者観しか持っていない以上、若い世代から冒頭のような発言が出てきてもやむを得ないことである。むしろ社会全体が新しい高齢者観をツチカう必要がある。
- ② 若い世代の発言には、老齢期に至って誰にでも起こり得る病気や障害に対する想像力が欠けているが、社会的な経験の少なさを考慮するとやむを得ないことである。むしろ社会が高齢者との接点を積極的に用意する必要がある。
- ③ 若い世代の発言は、二つの高齢者観の矛盾をすべく突いているという意味では、当然出てきてよい発言である。逆に、その発言に耳を傾け、介護施設や制度の充実を図る必要がある。
- ④ 今の社会では、高齢者の介護責任は家族にあり、現実問題として家族は重い負担に苦しまねばならない。したがって冒頭の学生の発言は、家族の立場から見たときに当然なこととして受け止めるべきである。
- ⑤ 若い世代の発言は「ゆたかさ」をもたらした社会全体の価値観に基づいたものであり、責めることはできない。必要なのは、その価値観では「そのままそこにあるしかない生命のとき」を支えることはできないということを認識することである。

⑥ 要介護者を社会の正当な構成員とみなすためには、すべての世代からの発言と協力が不可欠となる。その意味で、冒頭の学生の発言は社会への重要な提言と受け止める必要がある。

第3問 次の各問（問一～問七）を読んで、それぞれの指示に従って答えよ。

問一 次のA～Dの傍線部のカタカナと、各群の①～④の傍線部のカタカナが同じ漢字となるものを一つずつ選べ。

解答欄は、【マークシート解答用紙】 A ア・B イ・C ウ・D エ。

A 二か国語を自由にアヤツる。

B 彼はまだ経験にトボしい。

- ① ソウ合的な判断が必要である。
- ② ソウ縦席に座らせてもらう。
- ③ 演ソウ会が開かれる。
- ④ ソウ像以上の出来栄である。
- ① 窮ボウ生活に慣れる。
- ② 解ボウの所見が待たれる。
- ③ 待ボウの初孫が生まれる。
- ④ ボウ険の旅に出てみたい。

C 筋肉の痛みをシズめる。

D 監督として指揮をトる。

- ① 野草を薬としてチン重する。
- ② 家チンの高いマンションに入る。
- ③ 暴動をチン圧する。
- ④ チン没した船をひきあげる。
- ① 論文をシツ筆する。
- ② 馬が草原をシツ走する。
- ③ 部下をシツ責する。
- ④ 名誉がシツ墜する。

問二 次のA～Dの各群において、漢字の読み方（カタカナ表記）が正しくないものはどれか。それぞれ①～④の中から

一つずつ選べ。解答欄は、【マークシート解答题用紙】A オ・B カ・C キ・D ク。

- A
- ① 詰問（キツモン）
 - ② 傑出（ケツシユツ）
 - ③ 一献（イツコン）
 - ④ 頒布（リョウフ）

- B
- ① 懇切（コンセツ）
 - ② 搭載（トウサイ）
 - ③ 奔走（ハンソウ）
 - ④ 安泰（アンタイ）

- C
- ① 息吹（イブキ）
 - ② 所轄（シヨカン）
 - ③ 矛先（ホコサキ）
 - ④ 免疫（メンエキ）

- D
- ① 諭（サト）す
 - ② 慈（イツク）しむ
 - ③ 滴（シタタ）る
 - ④ 翻（アオ）る

問三 次のA～Dの に入る最も適切な語を、それぞれ①～④の中から一つずつ選べ。

解答欄は、【マークシート解答题用紙】A ケ・B コ・C サ・D シ。

A 待ちに待った娘の誕生に、父は を崩した。

- ① 笑顔
- ② 相好
- ③ 愛嬌あいきょう
- ④ 面目

B 先月優秀な販売成績を残した彼は、社内での を上げた。

- ① 座
- ② 山
- ③ 白旗
- ④ 株

C 一心 に研究した努力が実り、あの学者はノーベル物理学賞を受賞することになった。

- ① 不亂
- ② 懸命
- ③ 専念
- ④ 伝心

D 努力家の彼女は周りから 置かれている。

- ① 一石
- ② 一枚
- ③ 一目
- ④ 一足

問四 次のA～Dの慣用句で、に入る最も適切な語を、後の①～⑧の中からそれぞれ一つずつ選べ。ただし、同じものを繰り返し使用してはならない。

解答欄は、【マークシート解答题用紙】A ・B ・C ・D 。

A を冷やす B に下る C 歯に 着せぬ D 諸刃の

- ① 布
- ② 肝
- ③ 舌
- ④ 槍やり
- ⑤ 剣
- ⑥ 底
- ⑦ 衣
- ⑧ 野

問五 次のA～Cの各群において、意味の似ているものの組み合わせとして最も適切なものを、それぞれ①～④の中から一つずつ選べ。解答欄は、【マークシート解答题用紙】A ・B ・C 。

A

①	了見	—	了解
②	熱心	—	懸命
③	自認	—	自信
④	怠惰	—	迷惑

B

①	無為	—	無理
②	横領	—	横暴
③	利害	—	損得
④	蛮勇	—	熱烈

C

①	旅の恥はかき捨て	—	立つ鳥跡を濁さず
②	無い袖は振れぬ	—	紺屋の白袴 <small>しろはかま</small>
③	逆鱗 <small>げきりん</small> に触れる	—	画竜点睛を欠く <small>がりょうてんせい</small>
④	暖簾 <small>のれん</small> に腕押し	—	糠 <small>ぬか</small> に釘 <small>くき</small>

問六 次のA・Bにおいて、例文の傍線部の語と同じ意味・用法のものを、それぞれ①～④の中から一つずつ選べ。

解答欄は、「マークシート解答用紙」A

ト

・B

ナ

。

A 例 青い目をしたセルロイドの人形は、私の祖母の宝物だ。

- ① 今日は二月六日だったかな。
- ② 私はもう宿題をしたが、友達はまだまだそうだ。
- ③ あの白いワンピースを着た女の子は、私の妹です。
- ④ 先週図書館で借りた本を、今読んでいる。

B 例 あの子は仕草がかわいくて、いかにも子供らしい。

- ① どうやら彼は同窓会に行かないらしい。
- ② 天気予報によると、今日は雨らしいね。
- ③ この大学は、男らしい男子学生が多い。
- ④ この大学の学食はおいしいらしいよ。

問七 次のA～Dの傍線部の語句の意味として最も適切なものを、それぞれ①～④の中から一つずつ選べ。

解答欄は、「マークシート解答用紙」A

ニ

・B

又

・C

ネ

・D

ノ

。

A この小説は陳腐な表現が目立つが、人間の本質に迫るところがあり、心に残る作品であった。

- ① 誤った
 - ② 堅苦しい
 - ③ むずかしい
 - ④ ありふれた
- B 工場での杜撰な管理体制が、今回の問題を引き起こす原因となった。

- ① 利己的な ② 旧式な ③ いい加減な ④ 過剰な
- C 今回のプロジェクトでは、前車の轍を踏むことのないように、努力していきたい。
- ① 先例の成果よりも劣る ② 先例の実績を軽視する ③ 先例の結果を覆す ④ 先例の失敗を繰り返す
- D 知事は関係省庁への陳情のために上京した。
- ① 現場を訪れて、状況を把握する ② 直接面会し、深く謝罪する
- ③ 実情を述べて、善処を要請する ④ 情報を整理して、判断を下す

〔国語の問題は以上です。〕

写真・資料等について

【一般選抜1期（1日目）】

○国語

- ・第2問 『現代日本文化論 9 倫理と道德 「ゆたかな社会と倫理の変容
介護問題からみえてくるもの」』春日キスヨ著 岩波書店刊